

平成22年12月期

事業報告および計算書類

(平成22年6月1日から平成22年12月31日まで)

公益財団法人 泉屋博古館

事 業 報 告 書

【本館】

I. 美術工芸品の保存・公開並びにこれらに関する調査研究

(イ) 保 存

文化財の保存修理に関しては次の通り実施した。

(1) 美術品の修理・保存

①無し。

(2) 美術品の移管作業

①本館「住友コレクションの近代洋画」展のため、近代絵画を平成22年2月に分館より移動し、平成22年7月に返却した。

②本館「住友コレクションの中国美術」展のため、工芸品を平成22年7月に分館より移動した。

③本館「住友コレクションの日本美術」展のため、工芸品を平成22年7月に分館より移動し、平成22年12月に返却した。

④分館「青銅鏡」展のため、青銅鏡を平成22年12月に分館へ移動した。

(ロ) 公 開

(1) 1号館では下記の常設展を開催した。

平成22年3月6日(土)～6月27日(日)「中国青銅器の時代」

平成22年9月4日(土)～10月17日(日) //

平成22年10月23日(土)～12月5日(日) //

(2) 2号館では下記の企画展を開催した。

平成22年3月6日(土)～6月27日(日)「泉屋博古館創立50周年記念

住友コレクションの近代洋画」

平成22年9月4日(土)～10月17日(日)「泉屋博古館創立50周年記念

住友コレクションの中国美術」

平成22年10月23日(土)～12月5日(日)「泉屋博古館創立50周年記念

住友コレクションの日本美術」

(3) 当期の入館者数の状況は次のとおり有料入館者数が前年に対して大幅に増加した。

一日あたりの入館者数は94人で、前年比34%の増加となった。

(単位：人)

	平22 1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	前年 同期	前年比
公開日数	4	5	22	25	27	24	10	7	26	23	25	9	207	198	9
有料	0	0	1,009	1,742	2,440	1,940	0	0	1,189	1,455	2,228	666	12,669	7,152	5,517
優待	25	59	386	1,269	883	796	133	82	475	1,032	1,198	516	6,854	6,667	187
計	25	59	1,395	3,011	3,323	2,736	133	82	1,664	2,487	3,426	1,182	19,523	13,819	5,704

(注) 1-5月は参考値(旧法人で当期期間外)

(ハ) 調査研究

(1) 資料調査研究

①九州国立博物館と共同で館蔵青銅器の엑스線CT解析調査を実施した。

(科研費共同研究) その成果の一部を日本文化財科学会(関西大学開催)、アジア

鑄造技術史学会（島根県立は島根県立博物館開催）で口頭発表し、さらに紀要26巻に論文を発表した。

- ②館蔵の中国明清時代貨幣および近代欧州貨幣について、蛍光X線分析を実施した。
- ③別子銅山関連資料の蛍光X線分析を実施した（鉱石の一部と床尻銅）。
- ④青銅器文様研究に用いるために、収蔵青銅器40点について高精細デジタル撮影を実施した。（平成22年度科研費研究 廣川）
- ⑤平成23年企画展「書斎の美術」展準備のため、東京国立博物館他6館が所蔵する明清時代の工芸作品の調査を実施した。
- ⑥早稲田大学津八郎記念館の金銅仏調査を開始した。（平成22年度科研費研究 外山）
- ⑦平成23年他館連携企画「関西中国書画コレクション展」開催のため、京都国立博物館はじめ9館所蔵中国書画調査を行った。
- ⑧桜谷文庫にて木島桜谷旧蔵古書画類の悉皆調査を開始した。
- ⑨図録刊行に向け、館蔵日本絵画作品の調査を実施した。
- ⑩有芳園の本家蔵品整理に協力し、住友家所蔵作品調査を実施した。

(二) 普及活動

(1) ミュージアムボランティア

京都市の教育施策への協力（生涯学習）と、当館青銅器の普及活動を目的として、平成16年度よりミュージアムボランティア活動を実施中。開館期間中は毎日午後、2～4名の体制で来館者に対して常設青銅器・鏡鑑の列品解説を行っており、現在34名が活動している。

この活動は来館者、ボランティア双方から好評を博しており、今後とも継続して実施する予定。下記の通り研修を実施した。

- ・継続フォローアップ研修 講師 廣川守
3講座 平成22年7月～9月
- ・平成21年よりの参加者対象研修 講師 廣川守
2講座 平成22年7月～9月

(2) 列品解説・特別講座の実施（一部期外を含む、展覧会期中の実績）

- ・開館期間中、学芸員による列品解説を計14回実施した。

中国青銅器の時代	平成22年	3月13日	参加人数	12名
	平成22年	4月3日	参加人数	10名
	平成22年	5月1日	参加人数	16名
	平成22年	6月19日	参加人数	40名
	平成22年	9月25日	参加人数	7名
	平成22年	11月6日	参加人数	15名
住友コレクションの近代洋画	平成22年	3月27日	参加人数	20名
	平成22年	4月17日	参加人数	15名
	平成22年	5月29日	参加人数	12名
	平成22年	6月12日	参加人数	12名
住友コレクションの中国美術	平成22年	9月11日	参加人数	27名
	平成22年	10月16日	参加人数	18名

住友コレクションの日本美術 平成22年 10月30日 参加人数 7名

平成22年 11月20日 参加人数 27名

- ・三井住友銀行のSMBCクラブ50Sライフスタイルセミナーにて講座を開催した。

平成22年10月29日午前・午後2回

「住友春翠ーその美意識とコレクション」 講師 実方葉子

(3) 特別鑑賞会の実施（一部期外を含む展覧会期中の実績）

前年度に引き続き、入館者増対策の一環として「学芸員による展示品の解説」と「非公開住友庭園の見学」をセットにした特別鑑賞会を4回実施した。

第1回目 平成22年 5月 6日 参加人数 40名

第2回目 平成22年 5月 7日 参加人数 22名

第3回目 平成22年 11月11日 参加人数 19名

第4回目 平成22年 11月12日 参加人数 18名

(4) 各学芸員の執筆活動

- ・廣川 守

「X線CTを利用した中国古代青銅彝器^{いぎ}の構造解析」（『日本文化財科学会第27回大会研究発表要旨集』、平成22年7月）

「X線CTを利用した殷周青銅器の構造解析」（『2010アジア鑄造技術史学会出雲大会発表要旨集』、平成22年年8月）

「X線CTを利用した殷代青銅兕觥の構造解析」（『中国考古学』第10号、平成22年11月）

- ・実方葉子

「住友コレクションの日本絵画」および作品解説（『泉屋博古 日本絵画』平成22年11月）

「京都名画散策 東山物語 第三章 人物」（『小さな蕾』12月号、平成22年12月）

II. 美術工芸品に関する外部関係機関への調査協力等

(1) 収蔵品の貸出については以下の通り実施した。

- ・平成22年6月15日～8月24日

国立歴史民俗博物館「アジアの境界を越えて」展に「太和22年銘弥勒仏立像」

- ・平成22年7月28日～

九州国立博物館「海の道、アジアの路」展に戈卣など商周青銅器20点。

(2) 職員による館外講演

- ・実方葉子「住友家伝来の屏風にみる山王祭」（平成22年4月10日 於大津市歴史博物館）

(3) 大学教育協力

- ・学芸員の非常勤講師出講

外山 潔 京都嵯峨芸術大学「東洋美術史研究」（平成22年4月～7月）

廣川 守 立命館大学「博物館概論」（平成22年4月～平成23年3月）

- ・博物館実習の実施

立命館大学、京都外国語大学、京都女子大学、京都光華女子大学、京都精華大学、大阪府立大学、同志社大学より合計11名の実習生を受入れ、平成22年9月7日～10日の4日間実施した。

(4) その他外部研究機関・研究者に対する研究協力（一部期外を含む）

外部研究機関・研究者に対して下記の通り研究調査に協力した。

- ・平成23年 5月8日、8月23日 関西中国書画コレクション研究会（代表：曾布川寛氏）中国書画調査
- ・平成22年 7月23日 北京大学考古文博院 近藤はる香氏 青銅器調査
- ・平成22年 8月 6日 岡崎市美術博物館館長 芳賀徹氏 中国絵画調査
- ・平成22年 8月 7日 奈良文化財研究所飛鳥資料館 丹羽崇史氏 青銅器調査
- ・平成22年11月21日 北京大学李静傑氏 金銅仏調査

【分館】

I. 美術工芸品の保存・公開並びにこれらに関する調査研究

(イ) 保 存

文化財の保存修理に関しては次の通り実施した。

(1) 美術品の修理・保存

①岸田劉生「二人麗子図（童女飾髪図）」 1面

②その他保存作業

木・漆・染織・紙製の工芸品・書画について防虫剤の入れ替え作業及び風通し作業を行った。

(2) 美術品の移管作業

①本館「住友コレクションの近代洋画」展のため、近代絵画を平成22年2月に本館に移動し、平成22年7月返却を受けた。

②本館「住友コレクションの中国美術」展のため、工芸品を平成22年7月に本館に移動した。

③本館「住友コレクションの日本美術」展のため、工芸品を平成22年7月に本館に移動し、平成22年12月に返却を受けた。

④「中国青銅鏡」展のため、青銅鏡を平成22年12月に本館より移動を受けた。

(ロ) 公 開

(1) 下記の通り企画展・特別展を開催した。

平成22年4月24日（土）～6月20日（日）

「泉屋博古館創立50周年記念 住友コレクションの茶道具」

平成22年7月17日（土）～9月26日（日）

「近代日本画にみる東西画壇－東京・京都・大阪の画家たち」

平成22年10月16日（土）～12月12日（日）

特別展「幕末・明治の超絶技巧 世界を驚嘆させた金属工芸
－清水三年坂美術館コレクションを中心に」

- (2) 当期の入館者の状況は次の通りで有料入館者数の割合が大幅に増加した。
当期中（6－12月）の一日平均入館者数は185人と好調であった。

	平22 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	前年 同期	前年 比
公開日数	20	24	12	6	26	18	13	26	23	14	25	11	218	213	5
有料	1184	1221	664	503	2655	2221	715	1639	1613	1215	4060	4027	21717	17813	3904
優待	588	1021	1449	184	1148	1938	216	704	1959	433	1553	1766	12959	18088	-5129
計	1772	2242	2113	687	3803	4159	931	2343	3572	1648	5613	5793	34676	35901	-1225

(注) 1-5月は参考値（旧法人で当期期間外）

(ハ) 調査研究

- (1) 館蔵の絵画、工芸品について各々担当学芸員が、関連する他館所蔵作品について計測・写真撮影等の調査を行い、また関連諸学会にも参加した。
- (2) 館蔵の絵画、工芸品、特に近代洋画及び近代陶磁器について写真撮影、台帳作成作業、状態確認作業を行った。
- (3) 平成22年春季展のため、所蔵茶道具の調査、原稿執筆を行なった（両角・森下）。
- (4) 平成22年夏季展準備のため、近代日本画壇における画家・作品の調査研究を行った（川口）。
- (5) 平成22年秋季特別展のため、幕末・明治時期の金工作家・作品の研究を行った（両角・森下）
- (6) 平成23年秋季展準備のため、館蔵の茶道具・香道具の調査を行った。（森下）

(ニ) 普及活動

(1) 列品解説

- ・ 展示期間中、学芸員による列品解説を、計8回開催した。

近代日本画にみる東西画壇 平成22年7月24日

平成22年8月7日

平成22年9月11日

平成22年9月25日

幕末・明治の超絶技巧 平成22年10月23日

平成22年11月6日

平成22年11月27日

平成22年12月4日

(2) 各学芸員の執筆活動

- ・ 川口直宜

「推薦理由 絵画部門大賞 滝沢具幸 凍林図」（『第17回MOA岡田茂吉賞展』、平成22年6月）

「春の院展 倉敷展」（『山陽新聞社』、平成22年6月～7月）

「日展飛翔への希求」（『日展ニュース』NO. 138、平成22年9月）

「良心の画家、吉田善彦先生」（『ギャラリー安藤美術』、平成22年9月）

「手塚雄二 一瞬と永遠のはざままで を見て」（『新美術新聞』NO. 1232、平成22年11月）

「特集2010年 年末回顧アンケート ①オルセー美術館展②マン・レイ展・長谷川等伯展」（『新美術新聞』NO. 1235、平成22年12月）

II. 美術工芸品に関する講演会の開催、外部関係機関への調査協力等

(イ) 外部関係機関への調査協力等

(1) 収蔵品の貸出については以下の通り実施した。

①平成22年6月22日～7月10日

目黒区美術館 「紅心 小堀宗慶」展に「小井戸茶碗 銘六地蔵」

②平成22年9月11日～10月24日

石川県立美術館 「加越能の美術」展に「大講堂釜」

③平成22年10月2日～11月28日

愛知県陶磁資料館 「明治の人間国宝一帝室技芸員の技と美 清風與平・宮川香山から板谷波山まで一」展に板谷波山「葆光彩磁珍果文花瓶」ほか8件

④平成21年12月17日～現在まで

住友会館 小寺健吉「雪の芦ノ湖」他16件

(2) 職員による館外講演

- ・川口直宜 「青邨の芸術—古径・靱彦と歩んだ近代—」（平成22年6月18日 古川美術館）
- ・川口直宜 「山崎種二翁と美術」（平成22年7月31日高崎タワー美術館）
- ・川口直宜 「美の逍遥—美術館を楽しむ 泉屋博古館分館」（平成22年10月22日 裏千家東京茶道会館）
- ・川口直宜 「日展の日本画」（平成22年10月30日 新国立美術館）
- ・川口直宜 「2010日中美術シンポジウム」（平成22年11月14日 東京国立近代美術館）

(3) 各学芸員の外部出講

川口直宜 群馬県立女子大学 『日本美術史特講6』平成22年4月～7月

(4) その他外部研究機関・研究者に対する研究協力

外部研究機関・研究者に対して下記の通り研究調査に協力した。

- ・平成22年9月8日 京都国立博物館 学芸員 尾野善裕氏
「白磁老子置物」初代宮川香山他4件

【本館・分館共通】

I. 美術工芸品に関する、図録・絵葉書等の発行及びミュージアムグッズの製作

(イ) 図録・絵はがき等の発行

『近代洋画名品撰』増刷	300部	平成22年9月
『幕末・明治の超絶技巧 世界を驚嘆させた金属工芸—清水三年坂コレクションを中心に』	2,000部	平成22年10月
『泉屋博古 日本絵画』	2,000部	平成22年12月

作品絵はがき増刷

(再版) モンソー公園、つゆ草 各1000部
スオミ、扇面桔梗、安田鞞彦清香、安田鞞彦淡妝、密彫印材台・印材 各500部

(新版) 国宝鏡、匱侯旨鼎、戈卣 各500部

【処務の概要】

I. 役員等に関する事項

平成22年12月31日現在

役職名	氏名	就任年月日	現職	最初就任日	
理事長	宮原賢次	平22. 7. 31	住友商事名誉顧問	平20. 7. 27	非常勤
常務理事	山口信人	同	住友成泉社長	21. 1. 5	同
理事	朝尾直弘	同	京都大学名誉教授	12. 7. 27	同
同	長谷部楽爾	同	東京国立博物館名誉館員	19. 5. 25	同
同	樋口隆康	同	京都大学名誉教授	昭51. 7. 27	同
同	河上繁樹	同	関西学院大学教授	平20. 7. 27	同
同	小南一郎	同	京都大学名誉教授	18. 7. 27	同
同	西上実	同	京都国立博物館学芸部長	18. 7. 27	同
同	西川杏太郎	同	東京国立文化財研究所名誉研究員	6. 7. 27	同
同	奥正之	同	三井住友銀行頭取	20. 7. 27	同
同	下妻博	同	住友金属工業会長	20. 7. 27	同
同	住友吉左衛門	同	住友金属工業技監	昭61. 7. 27	同
同	武田恒夫	同	大阪大学名誉教授	平 6. 7. 27	同
同	田邊三郎助	同	町田市立博物館館長	10. 7. 27	同
同	富山秀男	同	式年遷宮記念神宮美術館館長	6. 7. 27	同
同	矢野薫	同	日本電気会長	20. 7. 27	同
同	横山進一	同	住友生命保険会長	20. 7. 27	同
同	米倉弘昌	同	住友化学会長	20. 7. 27	同
監事	福島孝一	同	住友金属鉱山相談役	20. 7. 27	同
同	磯野與志嗣	21. 12. 16	税理士	21. 12. 16	同
同	高橋温	22. 7. 31	住友信託銀行会長	20. 7. 27	同
評議員	安部正一	22. 6. 1	住友倉庫社長	12. 7. 27	同
同	藤井順輔	同	三井住友銀行取締役兼専務執行役員	20. 7. 27	同
同	藤本勝司	同	日本板硝子会長	16. 7. 27	同
同	廣瀬博	同	住友化学社長	22. 6. 1	同
同	五十嵐久也	同	三井住友建設取締役相談役	18. 7. 27	同
同	鹿島浩之助	同	日本電気監査役	20. 7. 27	同
同	加藤進	同	住友商事社長	20. 7. 27	同
同	家守伸正	同	住友金属鉱山社長	20. 7. 27	同
同	松本正義	同	住友電気工業社長	16. 7. 27	同
同	中村口伸	同	住友重機械工業社長	20. 7. 27	同
同	小川富太郎	同	住友ベークライト会長	16. 7. 27	同
同	小野寺研一	同	住友不動産社長	20. 7. 27	同
同	佐藤義雄	同	住友生命保険社長	20. 7. 27	同
同	秦喜秋	同	三井住友海上火災保険取締役	18. 7. 27	同
同	住友信夫	同		15. 2. 28	同
同	友野宏	同	住友金属工業社長	18. 7. 27	同
同	常陰均	同	住友信託銀行社長	20. 7. 27	同
同	渡邊穰	同	住友大阪セメント社長	18. 7. 27	同
同	山内重徳	同	住友軽金属工業社長	22. 6. 1	同
同	矢野龍	同	住友林業会長	12. 7. 27	同

(氏名 ABC順)

II. 職員に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	担 当 業 務	備 考
(本館) 名誉館長	樋 口 隆 康	平22. 11. 25		
館 長	小 南 一 郎	平22. 11. 25	館務統轄	
事務局長	松 崎 博 夫	平13. 12. 1	財団事務総括	
兼副館長				
上席研究員	外 山 潔	昭60. 6. 1	学芸業務統括	
学芸課長	廣 川 守	平 1. 4. 1	同	
管理課主査	手 塚 公 子	16. 4. 1	管理業務	
学芸員	実 方 葉 子	9. 4. 1	学芸業務	
職 員	坂 井 さおり	17. 4. 26	学芸業務補助	
同	田 畑 桂 子	18. 1. 4	経理・庶務業務	
上席研究員	村 山 順一郎	平20. 6. 2	X線分析業務	
(分館)				東京駐在
分館長兼	川 口 直 宜	12. 5. 1	分館館務統括	同
学芸課長				同
管理課長	小 椋 輝 雄	17. 1. 4	分館管理業務	同
学芸員	森 下 愛 子	21. 4. 1	分館学芸業務兼管理 業務補佐	同

III. 役員会に関する事項

(イ) 理 事 会

開催年月日	議 決 事 項	備 考
平22. 7. 31	理事長及び常務理事の選任に関する件	原案通り可決
(決議省略手 続による)	平成22年4-5月期事業報告並びに収支決算に関する件	同
平22. 11. 25	平成22年6-12月期事業計画並びに収支予算に関する件	同
	平成23年度事業計画並びに損益予算に関する件	同

(ロ) 評 議 員 会

開催年月日	議 決 事 項	備 考
平22. 7. 31	役員改選に関する件	原案通り可決
(決議省略手 続による)	平成22年4-5月期事業報告並びに収支決算に関する件	同
平22. 12. 5	平成22年6-12月期事業計画並びに収支予算に関する件	同
(決議省略手 続による)	平成23年度事業計画並びに損益予算に関する件	同

IV. 許可・認可及び承認に関する事項

なし

V. 契約に関する事項 (主なもの)

なし

VI. 寄付に関する事項

 科研費間接経費補助（廣川、外山、九博）

810,000円

 科研費購入設備等（廣川、外山）

479,036

計 1,289,036

VII. その他

平成22年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。